

血液浄化療法部

■ スタッフ

部長		石川 英二
医師数	専任	2名
	兼任	4名
看護師数	専任	4名
臨床工学技士	専任	2名
	兼任	5名

■ 血液浄化療法部の特色

慢性腎不全に対する血液透析および腹膜透析を行っています。特に腎不全患者が入院中に安心して検査や治療を受けられるよう、担当主治医と協力しながら、医師・看護師・臨床工学技士によるチーム医療を実践しています。さらに難病や重症疾患に対する血漿交換、免疫吸着療法、白血球除去、持続血液透析濾過（CHDF）などの血液浄化も積極的に行っています。

■ 診療体制と実績

1. 業務体制

下記の治療を行なっています。

1) 血液透析

血液透析導入、内シャント管理を行っています。外来での維持血液透析は原則行っておりません。透析患者が手術や血管造影検査のため入院された際、担当主治医と協力して入院中の安全な血液透析を提供しています。

2) 腹膜透析

我々は、患者自身の自立や QOL 向上の観点から、腹膜透析を腎代替療法の中でも重要治療法の 1 つと位置付け、積極的な導入と維持を行っています。

3) 血液浄化療法

重症疾患に対する ICU での持続血液透析濾過（CHDF）、各種難病に対する血漿交換や白血球除去、LDL アフェレーシスや免疫吸着療法など、担当主治医と協力して積極的な血液浄化療法を展開しています。

4) その他

毎週金曜日 16 時より透析カンファレンスを行っています。担当主治医、看護師、臨床工学技士を交

えて、入院中の検査や治療、手術に対応した安全な透析医療を提供するため、情報の共有を行っています。

保存期腎不全患者に対し、腎代替療法選択（血液透析、腹膜透析、腎移植）が円滑に行えるよう、医師・看護師を中心としたチームを作り、患者自身による腎不全治療法選択のサポートを開始しました。

2. 診療実績

2012 年 1 月 1 日～12 月 31 日の診療実績

慢性維持透析患者	313 名
新規血液透析導入	18 名
維持腹膜透析患者	17 名
新規腹膜透析導入	7 名
血漿交換	13 名
血漿吸着	5 名
持続血液透析濾過	68 名
白血球除去	6 名
エンドトキシン吸着	17 名
腹水濾過濃縮再静注	4 名

■ 今後の展望

患者中心の透析医療を積極的に行っていく予定です。具体的には、

1) 末期腎不全時に、患者自身で腎代替療法を選べるサポート体制の確立

2) 透析患者の QOL 向上

造影剤を使用した検査や治療後の血液透析施行のタイミングについて、患者負担と安全性の観点から検証を行います。

3) ICU 入院中の重症患者に対する血液浄化療法を、ICU 担当医と協力しながら積極的に展開します。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)